

## 基本方針

- ・ 町民の方々すべての人に開かれた施設として、内装材の方針は、

「明るく温かみを感じる」を基本イメージとし、材料や色を選定していきます。



コンセプトイメージ(ホワイエ)

- ・ 皆に親しまれる開かれた印象をもつ明るい白を基調とし、シルバーやベージュといったアースカラーと合わせてベース色とします。また、遠軽町らしい素材として木を使い、自然の風合いや温かみを取り入れます。シート系の材料においてもポイントで木調の柄を選定し、全体として統一感のある施設に仕上げます。
- ・ 木や他の素材を際立たせる色として、黒をアクセントカラーとして活用します。
- ・ 鮮やかな原色を用いて建物が主張しすぎないようにします。あくまで主役は施設を使う人とし、ここでの活動や交流が施設のカラー(特色)になると考えます。
- ・ 外観コンセプトの一つである「横基調」を内装にも取入れ、横ストライプ調の素材や、材料を横長に貼り合わせるなどの工夫を施します。



## その他の配慮事項

- ・ 機能に応じた内装材を選定し、メンテナンス性・耐汚性に考慮しながら計画をします。
- ・ 倉庫、更衣室等のバックヤードになる裏方諸室は、性能を優先とした仕上材とします。諸室の機能やグレード感に応じた仕上げ材料を選定し、コストバランスの良い計画とします。
- ・ 大ホールのバックヤード関連の諸室は、大ホールに色が入らないよう、黒系の色でまとめます。

タイルカーペット



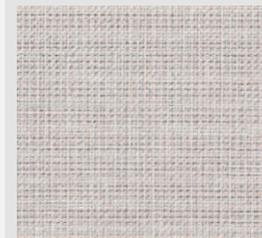
多くの人が行き来する部分には耐候性に優れた「**原着ナイロン**」を採用します。また防汚加工も施されたもので、長く愛用される材料となります。

ビニル床シート



メンテナンスコストを下げる**ノンワックス性**の材料を選定します。場所に適した抗菌性や消臭効果もある床シートを適材適所で選定します。

ビニルクロス



数あるクロス材の中でも、耐久性・耐傷性・防汚性を高めるためのフィルム加工を施された材料を選定します。

塗装材



例：蛍光ペンの汚れ除去

手のふれやすい部分には、通常の内装用塗装材にくらべ汚染除去性に優れた「**EP-Si**」を採用します。



色について

他の内装とは違い、全体的に**色彩を抑えた**構成としています。

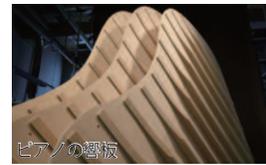
落ち着いたトーンの間とすることで、観客は他の場所とは違う異空間を訪れた、という気分や高揚感につながると考えます。

また、明るすぎる内装の場合、演目によっては演者に対して悪い影響を与えてしまうという意見もあります。

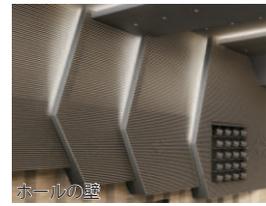
天然木 木リブ

壁面の木リブを、横ストライプ調に施します。木目を活かした染色を施し、経年変化にも耐えられる仕様とします。

木リブを施す壁の形状はピアノの響板を模しています。実は日本で生産されるピアノの7割に使用されている響板をつくる会社は遠軽町にあります。音をやわらかくする効果もある木リブは遠軽町らしい音楽ホールとしてのデザインとして計画しています。



ピアノの響板



ホールの壁

突板 : 遠軽町産材

オリンピック展示林となる遠軽町産材を用います。

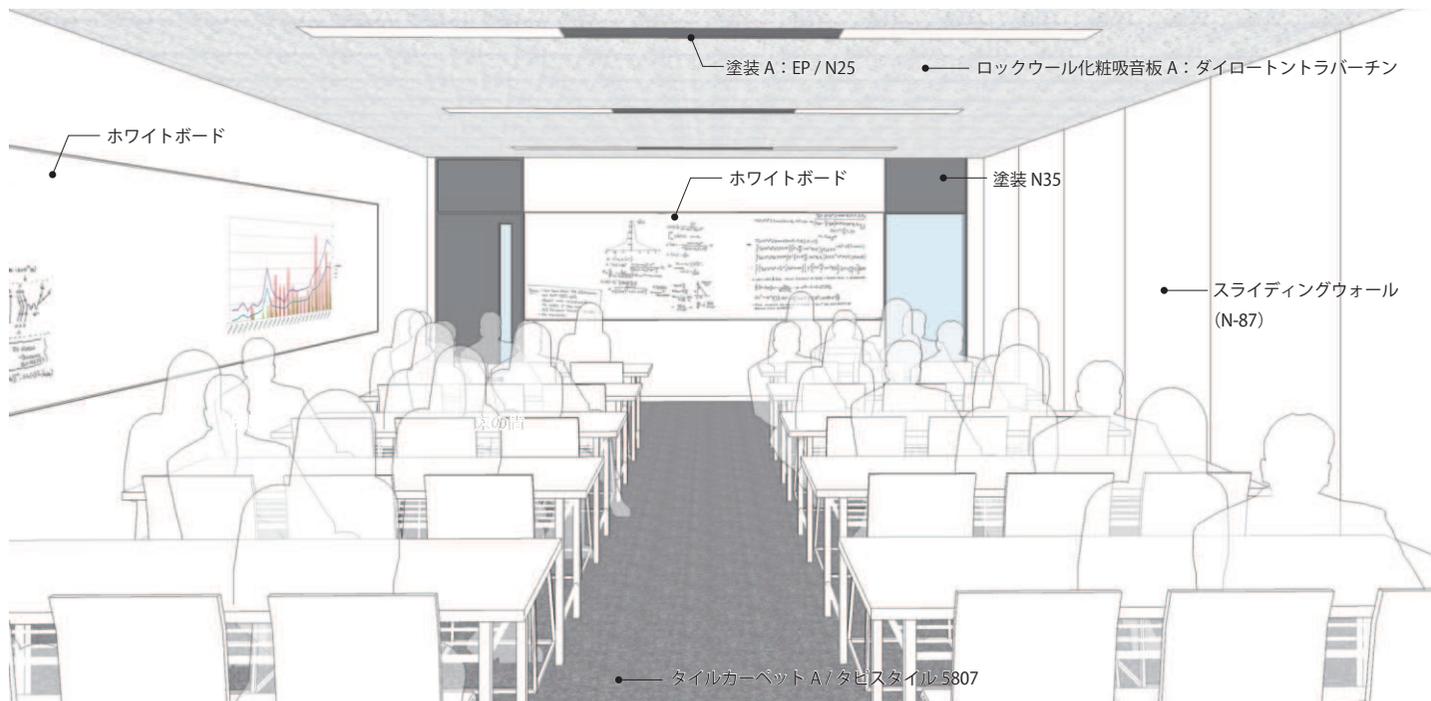
木リブ同様に、素材のもつ木目を活かした染色を施し、経年変化にも耐えられる仕様とします。色調は展示林が目立つ色合いを想定し、大ホールの内装の中では明るい色調とし、存在感を引き立たせます。



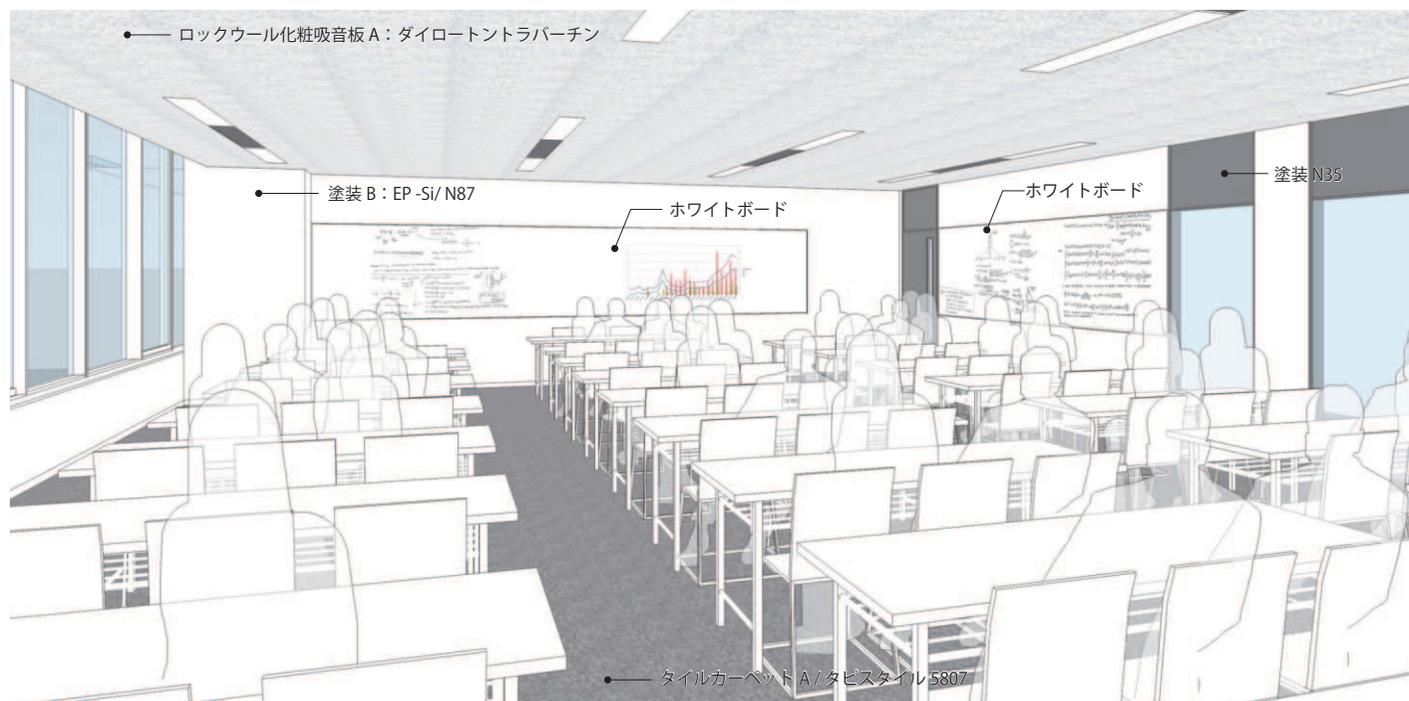
エントランス側をみたアングル



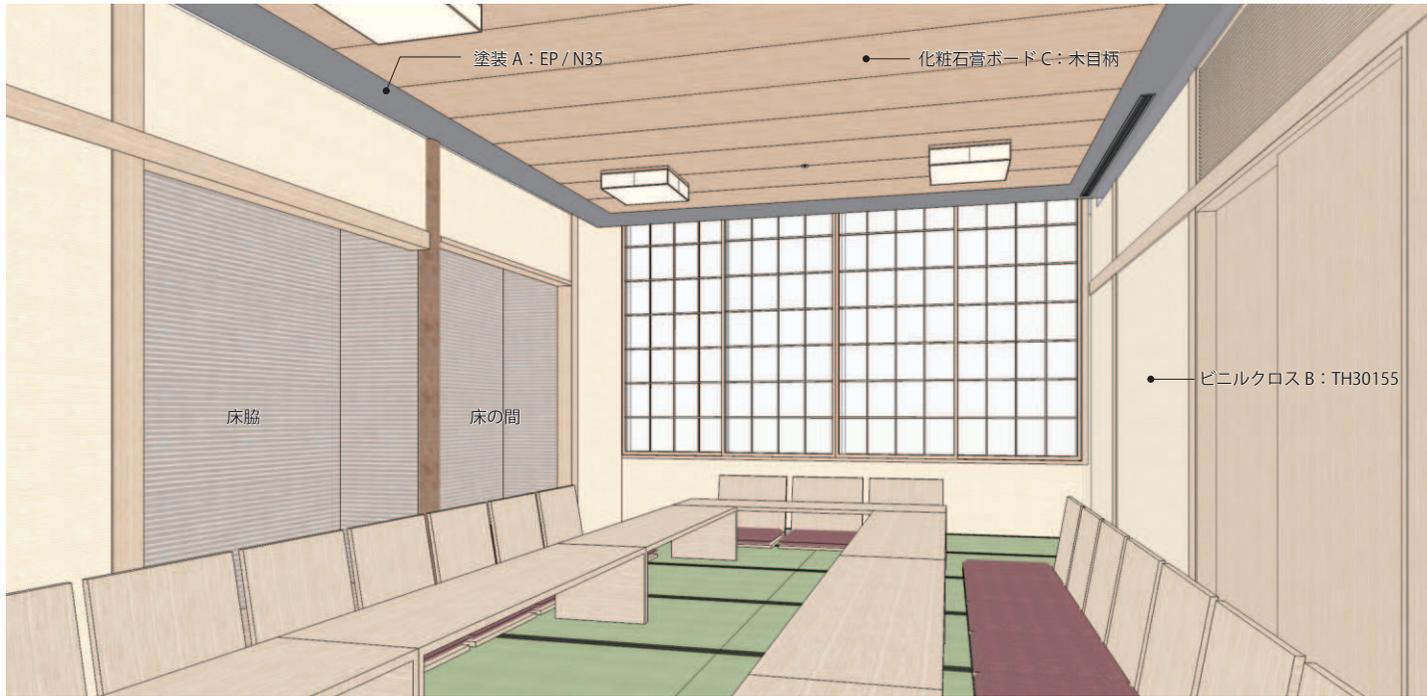
調理研修室側をみたアングル



多目的室 3



多目的室 3, 4 (奥側 : 多目的室3 手前側 : 多目的室4)



和室 1



和室 2, 3 (奥側 : 和室 2 手前側 : 和室 3)